



九条ブログはらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 28
2007(平成19)年7月4日(水)発行



アメリカ合衆国

<231年前の1776年7月4日は、アメリカ独立の日で、米国独立記念日>
今でこそ“世界制覇”のアメリカですが、231年前にイギリスからの独立戦争に勝ち、東部13の植民地が「アメリカ合衆国」として独立します。UNITED STATES OF AMERICAは、単純には「合州国」ですが、「合衆国」と訳したのは、「自由や平等や市民意識の高い民衆の集まりのアメリカ」という意味を理解していた福沢諭吉ではないかと言われています。また、星条旗の赤白の横縞は13本で当初の13植民地をあらわし、左上のカントンの星は50で現在の州の数です。

南相馬市議会へ提出の「憲法9条を護る意見書」は9月議会まで継続審議に市議会や議員さんの判断に注目を!

9月議会まで継続審議に市議会や議員さんの判断に注目を!

南相馬市第2回定例会に請願のあった「請願第6号 憲法9条を護ることを求める意見書の提出について」は、審査を総務常任委員会に付託されましたが、委員会において継続審査することとなりました。その理由は、内容について詳細に検討を要するためとなっていますが、委員会では、休会中に意見を求めたところ、委員8名の半数採択が継続との意見、採択すべきが3名、不採択1名であったため、再開して継続審査とすることとなりました。

具体的には、文言について意見書の中で具体的な数値の根拠の確証がないなどの意見が多数出されました。今後、休会中の委員会議会の中で、審査(内容について請願者や紹介議員の説明を求めることもある)し、9月議会には結論を出すこととなると思います。

2007.7

(総務常任委員長 小川尚一)

■「はらまち」小高「鹿島」
「相双教職員」の各九条の会と「映画・日本の青空上映南相馬実行委員会」は、六月一日に櫻井勝延議員を紹介議員として、南相馬市議会に「憲法九条を護ることを求める意見書」(ニュース2号に掲載)を提出し、現在採択を求めています。

■政治は草の根の地方政治から始まると言われます。この意見書が果たして南相馬市議会で採択され、国会に届くかどうか、皆さんで議会や、各議員さんの判断に関心をもちましょう。採択のために、「はらまち九条の会」三二九名の力を示せるか、何が有効なのか、どんな働きかけが必要なのでしょうか。

総務常任委員会

- 委員長 小川尚一
- 副委員長 小林正利
- 委員 小白今志
- 委員 幸夫裕宗
- 委員 稔清俊
- 委員 西横山元

《会員の皆さん!お知恵をお貸しく下さい!》

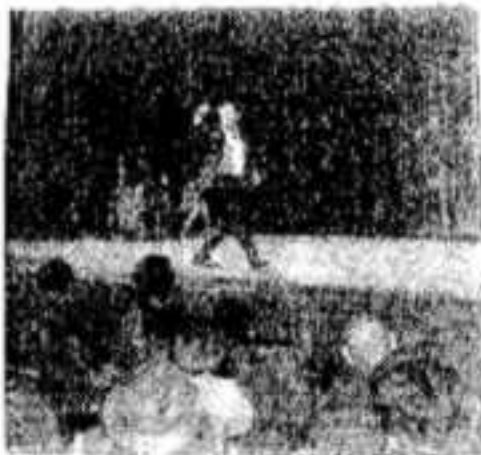


はらまち九条の会は、お陰様で会員数が現在329名となりましたが、事務局員能力不足もあり、時々事業の企画や実施で正直、手いっぱいといった状態です。しかし、日頃の地道な活動がおろそかになっているのではないかとご批判や、また、会費を払うだけでなく、自分も会の活動にかかわってみたいのだが、というご意見も会員の中からいただいております。

- そこで、次の点についてお願いする次第です。積極的なご提案、ご意見を事務局員までお寄せください。
1. 九条を護るために、こんなことを私(達)はやってみたいのだが、どうだろうかというく提案>をお寄せください。(例えば、学習会の立ち上げ、新会員の勧誘など)
 2. 九条を護るために、会としてこんなことをやってみてはどうだろうかというくアイディア>をお寄せください。(例えば、若者も楽しむことのできるイベント、自由なおしゃべり会など)
 3. こんなことなら、私(達)も会の活動のサポートができるのだがというくお力>をお寄せください。(例えば、事務処理、ブログ作り、ホームページの作成、イベントの手伝いなど)

はらまち九条の会は、会員お一人おひとりが“会長”だとお考えください!

松元さんのソロライブ
コントで護憲を訴えた



130名が入場<6月22日松元ヒロ・ソロライブ>

はらまち九条の会主催、6月22日(金)、サンライフ南相馬で開催された「松元ヒロ・ソロライブ」は、事務局の力不足で入場者が130名と少なく残念だったのですが、でも1時間半の長さを感じさせない、ユーモアに溢れ飽きさせることなく、きちんと憲法を考えさせてくれる内容でした。退席される方はみなニコニコと「良かったよ」と受付の事務局に声をかけてくれたことが救いでした。

◀ ▼2007年6月27日付『福島民報(記事)・民友(写真)』

護憲テーマに
コントライブ

原町で松元さん

憲法をテーマにしたコントで知られる松元ヒロさんのソロライブは二十三日、南相馬市原町区のサンライフ南相馬で催された。

はらまち九条の会主催、小高、鹿島、相馬、相双教職員九条の会の共催。松元さんは護憲を訴え、各地でライブを行っている。最初に得意のパントマイムを披露し、来場した約百人の心をつかんだ。続いて憲法前文を一気に読み上げるパフォーマンスなど、憲法を題材にしたコントを繰り広げた。

ライブに先立ち相双地区の九条の会八団体が情報交換会を開き、それぞれの活動状況を報告した。



「もっと多くの人に聞いて欲しかった！」

松元ヒロ・ソロライブに入場して

□もっともっとたくさんの人に聞いて欲しかった。130人足らずの入場でちょっと残念でした。メリハリの効いた話術で、笑いながらもしっかりと憲法を考えさせる内容でした。鬼を退治する「桃太郎」のお話も、鬼から見ればと立場を変えて考える大切さなど。できれば「小高九条の会」でもお呼びしたいと考えています。(小高区・青田利幸)

□楽しかったです。すぐに「はらまち九条の会」に入りました。(匿名)

□暗いニュースばかりの此頃。笑いの中にも“わさび”の利いた松元ヒロさんのライブでした。笑い転げながらもうなづける、全国でひっぱりだこなのもわかります。憲法改変の動きに対しても、大いに免疫力の向上した一時でした。(小畑瓊子)

□憲法というと硬い話になりますが、大変面白くためになり良かった。宣伝不足で、もっと一般の市民にも入場して聞いてもらいたいお話だった。勿体なかったと思います。(青田利一)

□最近私は、いても立ってもいられない気分になっている。どうも、テレビや新聞のニュースを見ての感じで、腹立だしからであろうか。教育基本法の改悪や憲法改正の動き、増税や医療費の値上げ、年金や政治とカネの問題…等、数えたらきりが無い。●そんな時に、松元ヒロ・ソロライブに誘われた。もう初めから終わりまで笑いの渦に巻き込まれ、さっきまでの気持ちのもやもやがすっかり消えてしまった。こんなに政治や社会問題を分かりやすく、痛快に語るのを聞いたことはあったろうか。その話術の巧みさもさることながら、その内容の深さと新鮮さにも感じってしまったのである。●北朝鮮のミサイル攻撃に対し、迎撃ミサイルを備えようなんていう人たちがいる。でも、考えてみると大人気ない見方ではないか。こんなことに惑わされたり、くよくよしたりしないで、未来を見据えた世界を展望しようと思った。憲法前文も、言葉では理解していたつもりであったが、語りの最後に、松元ヒロさんの朗読を聞いて、新たな感動を覚えた。●ところが、一夜明けたらまたもとに戻って落ち込んでしまう。テレビや新聞からは防衛大臣の「原爆投下しょうがない」発言や、「改憲容認55%」の見出しが目に入ってくるのである。でも、松元ヒロさんと出会ってからの私は、ちょっと違うように思う。彼は今でも何処かで、みんなを笑いの渦に引き込んでいるのだらうと思うと、少しは元気が出るようになる。●彼や彼のような人が、もっと新聞やテレビに出演できて、茶の間や隣近所での話題になる日が、一日も早くやってきて欲しいと願っている。(佐藤ヒロ子)



〒352-0035 埼玉県新座市栗原一丁目二五
TEL 049-270-1100 FAX 049-270-1101

松元 ヒロ

あ、お世話になりました。はらまち九条の会、お世話になりました。

Email: hiro.007@triton.ocn.ne.jp
(ファンクラブ「ヒロポンの会」ホームページ 1)
<http://www.winterdesign.net/hiropon/>

8月15日、終戦(敗戦)の日に発行

○3度目のお知らせになりますが、原町市が市制25周年記念として36年前の1971(昭和46)年に発行し、当時の市の全12,000戸に配布した「憲法」の小冊子は、復刻版として3,000部を、「はらまち・小高・鹿島九条の会」とともに、この8月15日発行することに決定しました。会員の皆様には、敗戦の焼け跡から生まれた「日本国憲法」ですから、ポツダム宣言受諾のその日の「8月15日」にお届けいたします。その復刻版で、「憲法を朗読する会」の学習会を開催、などはどうでしょうか?

